

ふれあい



発行者 ● 六日町地区青少年育成会

事務局 ● (株)樋口鉄工所内 樋口尚人 TEL 025-775-3831

印刷 ● (株)滝沢印刷 (南魚沼市川窪)



平成
27
年度

青少年 事 業 報 告

総務部

親子ふれあい事業

「森の中を駆けぬけよう」

平成27年10月11日(日)

フォレストアドベンチャー湯沢中里

育成部

育ち学級 (ふれ愛支援センター)

第1回 「手形でポン」

7月4日(土)

第2回 「七夕飾りづくり」

9月12日(土)

第3回 「おまつりごっこ」「エバリー・ファミリー・コンサート」

10月18日(日)

第4回 「親子で作ろうクリスマスリース」

12月6日(日)

豊かな子育て事業

平成26年度 合同閉講式

平成27年3月

平成27年度 合同開講式

平成27年5月

広報係

広報紙 「ふれあい29号」

平成27年7月1日発行

広報紙 「ふれあい30号」

平成28年3月15日発行

育成会ニュース

平成27年8月31日発行

青少年健全育成市民会議

合同総会

「夢は牛のお医者さん」

5月29日

関係会議

親子映画鑑賞会'15大会

11月14日

常任理事会

平成27年5月23日

平成27年5月26日

● 親子ふれあい事業 ●

来年は、二個目のターザンロープも絶対にちよう戦してみたいですね。カレーもとてもおいしくてほつぺたがおちそうでした。ありがとうございました。

今年の育成会がフォレストアドベンチャーハートわかつた時、楽しみもあり少し心配もありました。なぜかというと、前回行つた時、最後の木のつり橋で泣いたことがあつたからです。でも今回もう一度チャレンジしてみようと思いました。最初のターザンロープやたくさんのつり橋でこわいと思うこともいっぱいありました。勇気を出して、飛び続けました。飛び終わるごとに、胸がチヨースッキリしました、そして、前に泣いたつり橋も、泣かずにわたりきました。

今年の育成会がフォレストアドベンチャーハートわかつた時、楽しみもあり少し心配もありました。なぜかというと、前回行つた時、最後の木のつり橋で泣いたことがあつたからです。でも今回もう一度チャレンジしてみようと思いました。最初のターザンロープやたくさんのつり橋でこわいと思うこともいっぱいありました。勇気を出して、飛び続けました。飛び終わるごとに、胸がチヨースッキリしました、そして、前に泣いたつり橋も、泣かずにわたりきました。

自分をこえたアドベンチャー

六小5年 井口心愛



育成会行事に参加して

六小P 大久保勝弘



思い出たくさん、親子ふれあい事業

北辰小学校P 渡辺裕子



初体験！フォレスト★アドベンチャー

六日町小学校P 鈴木茂子



秋深まる十月、森の中をかけぬけてみました。「行ってきまーす」と上から手を振る子供たちに「いつてらっしやう」と下から見守り、手を振る私、家に帰り楽しかった話で盛り上がる事をその順番となり、家族ではりきつて出発するなど、スイスイと登る子供は笑顔でいっぱい。高い所が苦手な私は自分のことで精一杯。初めての体験で楽しかったですし、お昼のカレーは、大変美味しく頂きました。

おりに、役員の皆様、大変ありがとうございました。紙面をお借りして感謝申し上げます。

思い出たくさん、親子ふれあい事業

北辰小学校P 渡辺裕子

今年の行き先は、湯沢中里フォレストアドベンチャー。現地に到着すると、道具の使い方、注意事項の説明を受け、いざ出発。最初はごく低いところで練習のはずが、いきなり高い！怖がりの息子たちは最初「こんなの、絶対無理！」と言っていたのが、やつてみると「あれ？意外と恐くない。楽しい♪」となり、徐々に笑顔に。最大の難関、高さ15mのジップスライドも無事クリアしてゴール。

家族単位で行動するので、普段話をしない反抗期の息子たちといろいろ会話をしたり、子供の成長を感じることができました。最高の親子のふれあいでした。

役員の皆様、ありがとうございました。

今年の行き先は、湯沢中里フォレストアドベンチャー。現地に到着すると、道具の使い方、注意事項の説明を受け、いざ出発。最初はごく低いところで練習のはずが、いきなり高い！怖がりの息子たちは最初「こんなの、絶対無理！」と言っていたのが、やつてみると「あれ？意外と恐くない。楽しい♪」となり、徐々に笑顔に。最大の難関、高さ15mのジップスライドも無事クリアしてゴール。

家族単位で行動するので、普段話をしない反抗期の息子たちといろいろ会話をしたり、子供の成長を感じることができました。最高の親子のふれあいでした。

今年の行き先は、湯沢中里フォレストアドベンチャー。現地に到着すると、道具の使い方、注意事項の説明を受け、いざ出発。最初はごく低いところで練習のはずが、いきなり高い！怖がりの息子たちは最初「こんなの、絶対無理！」と言っていたのが、やつてみると「あれ？意外と恐くない。楽しい♪」となり、徐々に笑顔に。最大の難関、高さ15mのジップスライドも無事クリアしてゴール。

家族単位で行動するので、普段話をしない反抗期の息子たちといろいろ会話をしたり、子供の成長を感じることができました。最高の親子のふれあいでした。

樂しかったコンサート

沖町 関 笑美

「エバリーさん」の掛け声で始まったコンサートは、ピアノ、ヴァイオリン、ギター、打楽器、クラリネットの音色に子供たちも吸い込まれるような顔をして、じっと聴いていました。目の前の演奏にとても迫力があり、贅沢な時間でした。

長男もウッドブロックという楽器で参加させていただき、とても真剣な顔で一生懸命叩いていました。曲が終わり、皆さんから暖かい拍手を送られると、少し恥ずかしそうな、でもとても満足そうな顔をしていました。貴重な経験をさせていただきました。

エバリーさん、スタッフの方々、親子で笑い合える幸せな時間をありがとうございました。次回を楽しみにしています。

私はそだち学校・エバリー・コンサートということもあり、私はクラシックを聴いたことがなかつたので、すごく楽しみにしていました。



温かい人達に囲まれて

六日町 渡邊真裕子

たくさん的人に囲まれ育つてほしいと願つていましたが、慣れない土地での初めての育児は不安そのものでした。参加当初、子供は私の腕の中で抱かれ体操や活動に参加出来ませんでしたが、温かく見守つていただき刺激になつていたようです。何よりティータイムでは久しぶりの大人の会話に私自身が心癒されたことを思い出します。子育ては思い通りにはいかないことだらけでストレスも溜まります。お茶とお菓子を頂きながらのそんな時間が絶対に必要です。

長男も二歳になります。鼻歌で「あるこう、あるこう」と「さんば」を歌うようになります。そだち学級の体操で覚えた歌です。母としてもやつと二歳です。これからも楽しい企画で母と子の成長を助けていただけたら幸いです。



シール一つ一つが思い出

関 笑美

毎年そだち学級では出席カードを貰うのですが、私たち親子は各地のそだち学級に参加しているので、年度末にはシールが沢山貼られた賑やかなカードが完成します。このシール一つ一つには様々なイベントがあり、また子供との楽しい思い出が沢山詰まっています。

最近では豆まきに参加してきました。鬼が怖くて少し警戒気味に会場入りした娘でしたが、鬼に変身したアンパンマンのお陰で、楽しそうに鬼退治をしていました。どのイベントにおいても子供が好む内容で、尚且つ親も楽しめる様にスタッフの方々が盛り上げてくださり本当に楽しいです。そだち学級ではスタッフの方々に助けて頂き、いつも本当に感謝しています。今年もまた楽しい思い出が増えそうです。



● 学校紹介 ●

北辰小学校

当校の教育活動は、「めあてをもつて生き生きと学ぶ子ども」です。この目標を達成させるために、地域の方からたくさんのご支援をいただいております。

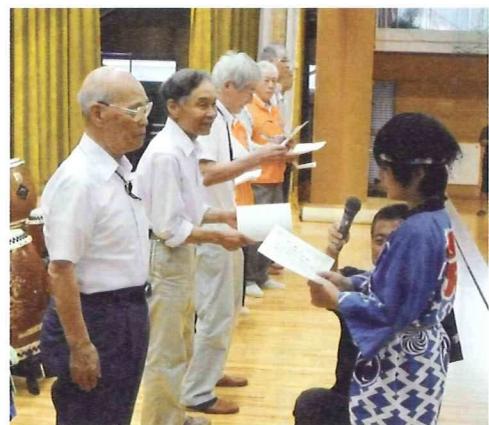
一つ目は、スキーボランティアです。クロカン、アルペンとも保護者や地域の方々から指導をしていただき、スキーの技術を高めることができました。

二つ目は、クラブ活動です。「ゲートボール」や「日本文化クラブ」等です。自分の興味・関心のあるクラブに所属し、地域の専門家から学びました。

三つ目は、図書ボランティアです。朝や昼の読み聞かせや本の選定など、本に親しみやすい環境を整えていただきました。地域に愛着と誇りをもち、地域を大切にする心を育むことができました。



六 日町小学校



当校では、PTA主催行事として「六小フェスティバル」を夏休みに開催しています。今年で七回目を迎え、「六小フェスだよ全員集合！」をテーマに、家庭・学校とのコミュニケーションと地域の方々への感謝を目的に行われました。

当日は、子供・保護者・地域の方など約五百名程の来場がありました。日頃お世話になつている安全ボランティアの方への感謝状の贈呈に始まり、地域の皆さんのステージ発表や魚釣りゲーム、きりざい舟等の出店で楽しみました。ウルトラ○×クイズでは、子供たちが考えた学校や地域に関するクイズで大いに盛り上がりました。

今年は六日町地区青少年育成会からも費用を補助していただきました。地域のみなさんからご協力いただき、PTA手作りの祭りとして続けられています。



六 日町中学校

六日町中学校では、生徒の社会性を育成するために地域に出て行う活動を大切にしています。

五月に地域貢献活動を行いました。生徒が地域でゴミ拾いや公共施設の清掃などをさせていただきました。地域の方と一緒に作業したり、作業後お年寄りとの食事会を楽しんだりするところもありました。

七月に資源回収を行いました。わざわざ物置いっぱいの資源を取つて置いてくださる方もいらっしゃいました。収益金は主に教材備品の購入や、生徒の部活動の補助として使わせていただいており、大変助かります。

このほか謙信公祭り後の清掃や、登校時の挨拶運動も行っています。地域で顔を見ることが少なくなつた子どもたちですが、見かけましたら声かけをお願いします。

総合支援学校



南魚沼市立総合支援学校は、平成二十五年四月に新設された市立の特別支援学校です。

開校以来、「まち全体をキヤンパスに」を合い言葉に、地域の皆さんと共に教育活動を行ってきました。駅前の市立図書館にMSGカフェをオープンしたり、ユーチューブにAKB48の「恋するフォーチュンクッキー」のダンスを公開したり、ユニーカな取組は街の話題にもなっています。多くの皆さんに支えられ、子どもたちはたくましく成長し、今その笑顔は学校からまち全体に広がっています。平成二十七年度は、小学部から高等部までの六十八名の子どもたちが学んでいます。ぜひ学校に来ていただき、子どもたちの笑顔と活動の様子を見ていただければと思います。